

広報すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

{ 4 / 15 }

令和4年(2022年)  
No.2327

まちの情報を  
区民視点で発掘!

区の公式サイト「すぎなみ学倶楽部」。知られざる偉人の情報から小さなお店の情報まで、読み応えのある多様な記事がそろっています。記事を通して、区民には杉並をもっと好きになってもらい、区外の方には住んでみたいと思ってほしい! そんな願いを込めて企画・取材・執筆に尽力する区民ライターのお二人に話を伺いました。



特集

すぎなみ学倶楽部

区民ライター

すぎなみピト

☎ 166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> 📄 発行: 杉並区 📖 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。最新情報は、区ホームページまたは区(地震・水防情報等)ツイッターをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。







## 進藤 鴻一郎

プロフィール：進藤鴻一郎（しんどう・こういちろう） ペンネーム：こういち 結婚を機に杉並で暮らし始めて約40年。会社員生活を終えた後に地域活動に参加し、平成30年から区民ライター活動を開始。有馬記念を作った有馬頼寧や郷土史家の森泰樹を深く掘り下げた記事が好評。亡き義母のファミリーヒストリー作成にも挑戦中。



え方」ではないのか、と強く思うようになりました。取材しながら対象の人物に迫っていく中で、その人物がどのように生きたのかを知ることは、区民ライターの活動を続ける上で大きな楽しみであり、自分にとっての学びでもあります。私は今年77歳になりますが、少なくとも80歳になるまでは区民ライターとして書き続けたいです。歳を重ねたからといって好奇心を捨てる必要がないというのも、以前取材した方から学んだこと。生涯社会とつながっていくことは大切ですし、そのためには歳を言い訳にせず、自ら努力していくことも必要です。

—今は区制施行90周年の特別記事を執筆されていますね。記事への意気込みをお聞かせください。

旧井荻村（町）の土地区画整理事業をはじめ、区の発展につながるさまざまな功績を残した内田秀五郎さんの記事を作成しています。あまりに偉大な人物で当初は担当する自信がなかったのですが、調べ始めるとその魅力とすごさが見えてきて「これは杉並版の渋沢栄一か、もしくはそれ以上かもしれない…」と覚えてきて、非常に興味が湧きました。同時期にいくつもの分野で活躍された方なので、情報を整理するのがとても大変です。同氏が開設に関わった大久保の淀橋市場を取材で訪ねましたが、驚くことに市場で現在働いている若い社員の皆さんが彼について知っていたんですよ。それだけ偉大で、多くの人にとっての恩人なのだ実感しました。だからこそ、杉並の皆さんにも内田秀五郎さんを知ってほしい。誠意を尽くして執筆するので、ぜひ読んでいただけたらうれしいです。

## 杉並を動かしてきた「人の生き方」を伝えたい

—区民ライターになろうと思ったのはなぜですか？

私が区民ライターを始めたのは、長い会社員生活を終えた後。第二の人生に向き合った時、それまで経験することのなかった「地域」というフィールドで活動してみようと思ったのがきっかけです。最初は阿佐谷地域区民センター協議会委員として地域活動を始めたのですが、その時に担当したのが講座の企画・運営で、郷土史を調べる機会も多く、歴史の面白さに目覚めていきました。そして任期終了後、協議会委員で得た経験や郷土史への興味を生かして活動を続けられるのではと考え、区民ライターの道を志しました。

—「すぎなみ学倶楽部」ではどのような記事を手掛けていますか？

主に「ゆかりの人々」の記事を担当しています。区と縁の深いさまざまな人々をたどるコーナーで、1年に1本ほどのペースで納得のいく記事を作り上げるのが私のスタイル。作成する上では、他の媒体では得られない独自の情報にこだわり、できる限り自分にしかできない取材を心掛けています。取材の中で、それまで公になっていなかった情報を発見できると達成感があります。郷土史家・森泰樹さんの記事においては、取材時に得た情報が郷土博物館の新たな資料になるという、うれしい成果もありました。



—区民ライターの活動でどのような楽しさ、気付きなどを得ていますか？

会社員時代は、「人」よりも経営や数字の目標などに目が向きがちでした。ところが地域に出て、その土地の歴史を掘り下げていくと「結局は人なのだ」と気付き始めた。連続と続く私たちの社会を動かしているのは「人の生き方」「人の考

## interview すぎなみ学倶楽部 区民ライター

材・執筆し、区の魅力を発信するウェブサイトです。後世に伝えたい歴史にわたりますが、その情報は区民ライターが区民ならではの視点と感覚収集している区民ライターの活動を紹介します。

## 高橋 恵子

プロフィール：高橋恵子（たかはし・けいこ） ペンネーム：わいじ夫・娘2人と共に国内外のさまざまな地域で暮らし、杉並に転入。令和元年から区民ライター活動を開始。活動の原点は、なみすけへの愛。平日に教育関連の仕事に携わる傍ら、休日などの時間を使ってなみすけと共に取材に飛び回っている。



## まちの新たな一面を発見する楽しさに溢れています

—区民ライターになろうと思ったのはなぜですか？

友人が書いているブログを読み、その文章の上手さに感動し、「私もこんなふうには書けたらいいな」と常々思っていました。そんな中で区民ライター講座の存在を知り、応募したのがきっかけです。最初に手掛けた記事は、講座を卒業する際の実習記事。こけしを収集・研究されている方を、もう一人の講座生とペアになって取材しました。初めて「人」にインタビューを行い、その難しさを実感し、記事にまとめるのも一苦労でした。受講した当初は、卒業後にライターとして情報発信することまで視野に入れていませんでしたが、初めて取材の経験をし、せっかくだから続けてみようと思い、区民ライターの活動をスタートしました。

—「すぎなみ学倶楽部」ではどのような記事を手掛けていますか？

区のキャラクター、「なみすけ」にまつわる記事がメインです。私はこれまで家族の転動に伴い、国内外さまざまな地域で暮らしてきました。杉並に越してくる直前はバンコクにいたのですが、日本には地域ごとにいわゆる「ゆるキャラ」が存在することを全く知らなくて。杉並で暮らすようになってなみすけを知った時、「こんなにかわいくて面白いキャラクターがいるなんて!」と、大好きになったんです。そんな思いもあって、なみすけ関連の記事に関わっています。

—取材をする上での喜び、大切にしていることはどんなことですか？

以前開設されていたなみすけのブログでは、なみすけと旅をする記事を書いていた。なみすけを持って各地を取材していると道ゆく人に声を掛けてもらうことが多くて、中にはすぎなみ学倶



楽部の読者の方もいて、「なみすけの記事の方なんです」と言ってもらえることもあります。そんな時はとてもうれしいです。取材を進める中で地域の方々の関わりが生まれ、新たな記事のアイデアへとつながっていくのも面白いです。大切にしているのは、事前に情報収集をしつつも、それによって先入観を持ちすぎないこと。実際に話を聞く中で気になったことを、その場でしっかり質問しようと心掛けています。皆さん協力的でたくさんお話しいただくので、文字数に合わせて内容を取捨選択する作業がいつも心苦しいです…!

—区民ライターをやってみたい方に向けてメッセージをお願いします。

普段はフルタイムで仕事をしているので、取材をするのは主に休日。執筆は休日や平日の夜です。私にとって区民ライターの活動は、仕事や趣味とも少し異なるような気がしています。社会人になった後も勉強を続ける人がいますが、それに近いのかなと思います。忙しい中でも続けているのは、自身の中に「成長したい。学びたい。」といった気持ちがあるからなのでしょう。区民ライターの活動は自分が暮らすまちの新たな一面を発見したり、個人では行けないところへ行ける楽しさ、思いがけない話に出会えるドキドキ感に溢れていたりします。好きなことを、好きなペースで書くことができ、区の情報サイトで発信できるのはとても魅力的なこと。すぎなみ学倶楽部をご覧ください。興味を持った方はぜひ一緒に、区民ライターとして杉並の情報を発信していきます。

### CHECK! すぎなみ学倶楽部に「杉並区区制施行90周年」関連記事リンク集開設!

杉並町・和田堀町・井荻町・高井戸町が合併して誕生した杉並区は今年度、区制施行90周年を迎えます。区では、区の歴史を語る上で欠かせない5つの出来事を「すぎなみ5ストーリー」として次世代へ継承するためにさまざまな企画を進めています。

学べる記事をまとめたリンク集を開設。杉並の90年のあゆみを振り返るときに役立つ記事や、歴史、ゆかりの人物なども紹介しています。「区長インタビュー」では、区制施行90周年にかけの思いを区長に伺いました。



すぎなみ学倶楽部 90周年



### 区民ライター募集中!

すぎなみ地域大学で「区民ライター講座」を受講し、あなたも区民ライターになってみませんか? 講座では、企画・取材・写真撮影・文章作成等の実践的な技能を学び、その後、実際に取材活動を行って、ウェブサイトにも記事を掲載します。ご応募お待ちしております。



すぎなみ地域大学ホームページ(右上2次元コード)から5月12日までに申し込み

YouTubeで配信中!

すぎなみビト MOVIE

すぎなみビト「すぎなみ学倶楽部区民ライター」のインタビューが動画でも楽しめます。右2次元コードからご覧いただけます。

紙面には掲載しきれなかった取材のこぼれ話も動画で紹介しています。



杉並区公式チャンネル